

『土湯の森』づくりを実施 - 刈り払いと幻想の森散策 -

8月9日、照り付けるような日差しの中、戸沢村にある最上川スキー場跡地の植生を回復させる取組の一つとして、スキ等の刈り払いを行いました。

この取組は、本年5月に開催された鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊(土湯の森)自然再生実施協議会において取りまとめた「実施計画」に基づき、生育しているカエデ類などの稚幼樹の保育や更新補助を目的として行ったものです。



刈り払い作業の様子



参加者集合写真

当日は戸沢村の住民をはじめ、神室山系の自然を守る会、戸沢村役場、山形森林管理署最上支署、当センターなどから23名が参加し、稚幼樹の折損に注意しながら、鎌を振るいました。

今回は0.5ha程度の刈り払いを行いました。比較的経験豊かな参加者による実施にも関わらず、思いのほかスキやタニウツギなどが多いことに加え、炎天下での作業は大変でした。

作業終了後は「幻想の森」へと場所を移し、「神代スギ」と呼ばれる多幹型の天然スギが群生している森林内を散策しました。

この「幻想の森」は、旅行のCMでも紹介されていて、当日も県外から見学者がきており、一緒に散策することとなりました。

今回の取組では、残念ながら子供たちの参加がなかったことから、今後は、より多くの地域の方や子供たちに参加していただくため、募集方法や内容を含めて検討していきたいと考えています。



「幻想の森」散策